

会 議 要 旨

会議名	館山市図書館協議会
開催日	令和7年7月2日(火)
開催場所	館山市図書館
出席者	委員：秋山里和、川名真依、金房努、齋藤 実、片岡洋子、生稲裕美、 関 和美、波佐間美和子、 教育委員会：石井教育長、三浦教育部長、内堀生涯学習課長 庄司図書館長、鈴木管理係長、相川主任司書、渡邊主事
公開・非公開の別	☒ 公開 一部非公開 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0 名
会議概要・結果等	【会議概要・結果等】 1 開会 2 教育長あいさつ 3 辞令交付 4 委員、職員紹介 5 議長、副議長選出 金房議長、齋藤副議長選出 6 議事 (1) 館山市図書館の概要について (2) 令和6年度館山市図書館事業報告について(資料のとおり) (3) 令和7年度館山市図書館事業計画について(資料のとおり) 〔説明：図書館 庄司図書館長〕 〔質問・意見等〕 ○子ども市民大学の「はっけん伝カード」は、スタンプが50個集まると「子ども博士」の認定証とメダルがもらえる。読書貯金通帳については、認定証のような特典はあるか？ ⇒読書貯金通帳は、1冊貯まると通帳の裏に認定の印を押している。 ○子供にとっては「はっけん伝カード」も「読書貯金通帳」も励みになる。地味ですが、続けていてもらいたい。 ○所蔵資料が16万点程あるようだが、書庫には、どのくらい入

っているのか。

⇒半分より少し多い数が書庫にはある。

○子供向けの本は、子供が見て選べる方がいいと思う

⇒見て選べるように工夫してみたいと思う。

○図書館職員が学校に出向いての「読み聞かせ」「ブックトーク」などの取組は子どもが本の楽しさを知ることができる。

⇒学校に出向いた取組により、小学生が移動図書館の巡回日にみんなで本を借りに来てくれ、本に触れるきっかけになった。

○わらべうたの会の時など、赤ちゃんを抱いて閲覧室付近に行くのは、勉強してる人もいて気が引ける。

⇒子ども向けの絵本のある場所などは、多少こどもが騒いでも大丈夫です。

○読書活動推進計画にのっとり活動が読書の楽しさを知るきっかけとなる。子ども・保護者また学校への地道な働きかけを継続してほしい。

⇒読書推進計画に沿ってやっていることをアピールしていく。

○小中学校も統合が進んで、学校維持に係る経費も削減される。図書館の収容冊数も限界にきていると思われる。新しい図書館を建て替えるとか、増築とかは考えているか。

⇒図書館の建物自体が古くなってきている。今、全国各地で色々な図書館が新しくできている。また、街の本屋さんがなくなっているのも現実。本の素晴らしさ、公立図書館の大切さを訴えていきたい。

○子連れのお母さんは、子どもが生まれて何も知らないところで、仲間づくりをしたい。そのなかで図書館のイベントに参加した人たちで交流をしている。司書からのおすすめの本の紹介をもらったりして、本へ興味を持ってもらう機会となる。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。

7 その他

[質問・意見等]

○学校の図書室をもっと充実させてほしい。

⇒いろいろ制約があるが、司書を中心に児童書の充実に心がける。また、移動図書館を引き続き実施し、本を紹介していく。

8 閉会